

## 第2回 品川区学事制度審議会 議事要旨

日 時：令和5年8月25日（金）10:00～12:00

場 所：品川区役所第二庁舎5階 251・252 会議室

出席者：

|           |   |
|-----------|---|
| 委員        | (出席委員)<br>名和田委員長、樋口副委員長、金子委員、堀江委員、松澤委員、清水委員、<br>小宮委員、巻島委員、堀井委員<br><br>(欠席委員)<br>多田委員、宮崎委員                         |
| 区側<br>出席者 | 米田教育次長、宮尾庶務課長、森学校施設担当課長、<br>柏木学務課長、中谷指導課長、丸谷教育総合支援センター長、<br>唐澤特別支援教育担当課長、升屋統括指導主事、齊藤統括指導主事、<br>関口学事制度担当主査、三浦学事係主事 |

### 1. 開会

### 2. 委員長挨拶

### 3. 議事

- (1) 品川区立学校の学校選択制度の概要について
- (2) 最新の就学人口推計について
- (3) 作業部会での議論の方向性について
- (4) 意見交換等

#### 【主な意見等】

(委員)

(特別教室を普通教室に転用する件に関して) 図書室は、必要な蔵書数が決められていると思うが、図書室を転用すると蔵書数を維持できなくなるのか。

(事務局)

文科省の基準により学級数によって蔵書数が定められるため、図書室を転用する場合

も、蔵書数は守られる。

(委員)

集合住宅の分譲と賃貸について、賃貸の場合は分譲よりも出入りがあり、状況が異なると思うが、どのように考えているか。

(事務局)

これまでの傾向を見ると、賃貸の場合は分譲ほどの就学人口は発生していないようである。

(委員)

普通教室の確保が難しい学校において、通学区域の見直しは有効な手段となりうるか。

(事務局)

大きな手法の一つかと思う。

(委員)

今後の議論として、通学区域の線引きの話をするのか、校舎の増設、新設を含めて検討するのか。通学区域の議論を行う場合、前回の学事制度審議会で中学校区の中に小学校区を収める改正を行っているが、この前提についてはどのように扱っていくのか。

(事務局)

前回の審議会の結果については尊重したいため、小学校区は中学校区に包括されるという形で議論をお願いしたい。

(委員長)

今回の会議では、教室の不足が見込まれる学校を含めて、小学校区の区域を調整する等の方法を中心に、教室不足を解消できるか検討をお願いしたい。

#### 4. 連絡事項

#### 5. 閉会

以上